

岩手県立花巻清風支援学校 令和6年度 第1回学校運営協議会報告書

1 日 時 令和6年6月4日(火) 10:00~12:00

2 会 場 本校会議室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員出席 15名

会 長 企業関係者

副会長 北上地区、福祉関係者

A委員 地域関係者

B委員 地域関係者

C委員 遠野地区、福祉関係者

D委員 行政関係者

E委員 学識経験者

F委員 企業関係者

G委員 福祉関係者

H委員 教育関係者

I委員 教育関係者

J委員 P T A関係者

K委員 同窓会関係者

L委員 同窓会関係者

校 長 本校職員

(2) 本校職員 11名

4 学校運営協議会議事録

(1) 開会：副校長

(2) 役員選出

(3) 議事：進行(司会) 副校長

ア 令和6年度の基本方針の承認

[司会]

それでは令和6年度の学校運営方針を学校長から説明いたします。

[校長]

学校経営計画A4一枚の資料です。今年度の重点目標を中心に話をさせていただきます。学校教育目標「自立と社会参加」は、卒業生の多くは地域に残って生活していきます。共生社会の主役が卒業生であると考えています。こうした意味を踏まえて学校経営にあたっていきます。

2の現状と把握及び展望は、資料の通りです。3の目指す学校像は(1)今年度の重点目標「ア教育的ニーズを把握した児童生徒主体の授業づくりの充実」は、学校評価アンケートで、学校の勉強が分かりやすいと答えた児童生徒、個別の指導計画に保護者の意見を十分に取り入

れて学習が進められていたと答えた保護者の肯定的評価が95%以上と設定しました。

取り組み方針は、個別の指導計画の改善充実を図り、ICTの情報化をはじめとした基礎的な環境整備を引き続き進めたいと考えています。

【以下資料のとおり】

イの取り組み方針は、キャリア教育の充実、関係機関と進路情報の共有に努めて一人一人の進路実現を目指します。ウの取り組み方針は、居住地交流の充実、学校間交流と地域交流の充実を挙げております。エの取り組み方針は、健康安全教育に引き続き計画的に推進していきます。オは、児童生徒の自己有用感を育むうえで大変有効な地域貢献活動に引き続き取り組みます。昨年度指標に到達せず、80%台の評価でしたので、今年度は90%以上としていきたいと思っております。昨年度の学校評価で直接地域貢献活動に従事していない職員からの意見にあったのですが、地域で児童生徒が生き生きと生活していくことを意識して授業を行っているのであれば、十分地域貢献を図っていると捉えてよいと考えています。取り組み方針としては、引き続き地域支援活動を通じた講演活動の充実、地域での特別支援教育のニーズに対応して相談支援業務の充実に努めます。カは、方針としては、児童生徒保護者向けのアンケートを定期的を実施する。学校いじめ対応マニュアルに沿って組織的に対応することとします。キは、新たに設けた項目です。先日、県の「再発防止岩手モデル」がニュース等でも発表されました。児童生徒の自死防止、学校教職員による不適切な言動を根絶するための、県全体の取り組みです。すべての県立学校での重点目標に取り入れる項目です。取り組み方針は、岩手モデルの学習をこれから一層深め、毎月の職員会議においても「人権・コンプライアンス」についての研修に担当を変えながら取り組んでいきます。また、7月には、「岩手モデル」について学習を深めていきます。以上です。

〔司会〕

それでは、何かご質問はありますか。

〔副会長〕

今年の重点目標のアのところ、ICT化を含めて環境整備を図っていききたいと話がありましたが、高等部の受け手側となる私の立場とすると、ICT化を学校のうちに進めていただけると、それに乗っかってICT化を整備することによって、うまく社会生活を送ることができると考えています。先ほどの見学したときもタブレットを使っていた生徒が、個人に合わせて使っていたのを見て、ICT化を上手に進めていきなと思いました。これは、職員不足のためです。

〔校長〕

休憩時間においてもコミュニケーションツールでも活用できますので、さらにそのような取り組みが進められるよう努力していきます。

〔司会〕

学校経営計画に承認いただけます方は拍手をお願いします。 【全員拍手】

イ 地域との連携、協働の取組みについて

(ア) 高等部卒業生の進路状況

〔進路指導主事〕

令和5年度の卒業生の状況です。中学部は本校、遠野分教室、北上みなみ分教室併せて11名すべて本校に進学しています。みなみ分教室から3名。高等部は久々に多く32名です。一般企業への就職は2名です。いずれも北上出身です。一人は北上のTDKエレクトロニクスファクトリーで製造補助、もう一人は株式会社サンコーでプラスチックの成型を行っている会社に就職しました。折り畳みのコンテナを作っています。就労継続支援A型は花巻の方ですが、昨年度花巻にできたスクラムに入りました。主に受託作業や施設外就労をしています。あとは、福祉サービスですが一人紫波の方が移行支援事業所、あとは就労継続支援B型16名、生活介護が花巻北上の方が9名です。その他3名は、国立花巻病院に継続入院しています。以上です。

(イ) 令和5年度の状況と令和6年度の取り組みについて

〔副校長〕

【資料の内容について説明】

〔B委員〕

前にも言いましたが、道の駅はなまき西南のプランターの件です。頻繁に水やりをしなければならぬ葉物についてです。資料では6回となっています。これは、水やりの回数だと思います。定期的にやればよいというのではなく、あまり水やりが必要ない葉物がよいと思います。トイレの入り口にも置いてもらっていますが、よく劣化したものがあります。私も時々行って、南側の用水路からバケツで水やりをしたこともあるので、できればこの点について考えていただくと道の駅としても助かります。皆さんが通るところなので、よろしく願います。

〔中学部主事〕

花の件ですが、花巻市からいただいているため選ぶことができませんが、水やりがあまりいらぬ花を植えたいと思います。昨年度、中学部の反省でも出まして、現在雨が当たらない場所に置いてあるので、雨が当たる場所に置かせていただく工夫もあると話題がでましたので、後程ご相談させていただきたいと思います。

また、子どもたちは、年6回しか出られませんが、訪問学級の職員が毎日外に出ますので、その職員が道の駅に寄って水やりをし、維持できるように努めたいと思います。ありがとうございます。

〔B委員〕

結構大きなプランターなので、雨が当たらないところに置いているが、当たるところに置くよう相談してもらってほしいと思います。

〔中学部主事〕

入口のところに置かせていただいていたのですが、そのように相談させていただきたいと思います。ありがとうございました。

〔中学部主事〕

中学部のところでボランティアの活用にスノー学習がありますが、残念ながら、今年度は行わぬこととしました。理由は、去年雪不足で、学校で1回もできませんでした。スキー場に

行ってかろうじてできましたが、今後も雪不足が考えられます。また、外での学習を希望しない本人保護者が毎年いるので、今年度から中での活動に切り替えました。このことから、ボランティアの希望はなしとします。

〔B委員〕

かかしくらベコンクールが投票参加となっていますが、案山子を子どもさんたちに作らせるということは考えていませんか。

〔中学部主事〕

これも中学部です。太田地区の振興会だよりの回覧から、コンクールをやっているのを知りました。まずは、見たり、触ったり、どういう意味で作られているかといったところから始めたいと思っています。もし、作りたいという生徒がいましたら、次の段階に進んで取り組んでみたいと思っています。

ウ 今年度からの高等部の取り組み（作業学習）について

〔高等部主事〕

高等部職員で魅力化について話し合いをしました。この趣旨は、「学校教育の目的をきちんと共有して進めること」「生徒自身が活動を通して生き方あり方を考えること」「学校を核とした地域おこしをすること」これが、本校魅力化の方向性です。支援学校だからこその魅力化を図ることとしました。本校の学校教育目標と照らし合わせて、3年間でどんな生徒を育てて社会に送り出していくのか、そのためにつきたい力は何なのか、そして必要な作業学習は何なのかということを検討してきました。そのため、産業構造の変化に伴う卒業生の進路先の変化から第1次産業から第3次産業を網羅する班編成にしています。

地域において生徒の取り組みの場を提供して下さった地元企業のPRにもなればよいと思います。6つの課を立ち上げました。今回課にしたのは、作業課全体で会社として経営したいと考えました。生徒からアンケートをとり、「花巻清風フラワーカンパニー」という名称としました。あくまでも英語にこだわったのは、生徒たちの希望でした。

社訓も設け、「みんなに幸せな気持ちになってもらい、自分も幸せになれる会社にしよう」ということで、このようにしました。地元企業の方等、多くの協力をいただくことになりました。高源精麦様からは、もんのすけ農園さんを紹介していただき、アグリ課と食品加工課でお世話になることが決定しています。クリーンサービス課は、初めて花巻おもちゃ美術館の清掃に行ってきました。木材加工課は、小友木材店さんのご協力で、千貫石森林公園の清掃や木材伐採見学をさせていただきました。また、正面玄関前のみちのくココ・コーラの自販機管理運営も進めています。Excelに入力する作業を行いグラフでも見られます。今後、季節の売れ筋を考察できるような展開に進めていければと思っています。

〔K委員〕

秋田県でも同じようなことをしています。そこは、2年生3年生で振り分けしている。こちらは、1年生から振り分けするようですが、根拠は、本人の希望、あるいは能力、あるいは他人から見ての判断で振り分けていくのか、教えてほしい。

〔高等部主事〕

まずは、本人、保護者の希望をお聞きします。本来自己理解に結び付けたいのですが、様々な経験をする中で、得意不得意を知ってもらいたいことから、3年間のうちで様々な課を経験できるようにと考えています。

〔司会〕

これにつきましては、第2回の運営協議会でも、今後の取り組みについてご紹介させていただき、ご助言をいただきたいと考えています。

エ その他

〔J委員〕

先日、卒業された保護者からご相談を受けました。18歳から選挙権があります。障がい者の子どもたちも投票に行かなければならないということで、「学校教育の中で自分の意思を投票に反映できる練習をして欲しかった」という意見がありました。ぜひ、支援学校でも投票する練習の機会を多く設けていただきたい。

〔高等部主事〕

本校は、主権者教育として花巻市選挙管理委員会の方と連携して、実際の記載台をお借りして職員3人が、それぞれ公約を述べて。それに対して投票することを行っています。学校をよくするには生徒会」「市をよくするには市議会や県議会」という考えにつながるような形で学習を進めています。そのような学習をしていることをもっと、きちんと説明しなければならないことを反省しました。

〔D委員〕

先ほどの主権者教育の件ですが、前は私は総務課にいまして、選挙管理委員会を兼ねていました。その関係で、出前講座でこちらの学校にお邪魔しました。その際、選挙の仕組みや実際の記載台や投票箱を持参して、先生方に候補者公約いただいて、実際に投票の体験をしていただきました。このほか市内の高校で18歳になる方を対象に行っています。今年度も同様の計画をしていますので、気軽に選挙管理委員会にお声がけいただければ、馳せ参じていただければと思います。

(4) 諸連絡

第2回 令和6年10月8日(火)

第3回 令和7年2月18日(火)

(5) 閉会：副校長